

# 平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果について

今年4月18日に小学校6年生、中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。このほど調査結果およびそのデータ分析がまとまりました。本校の様子をお知らせします。

※調査の内容は、すべての教科において知識と活用を一体的に問う問題形式となったため、昨年度まで示していたAB区分がなくなりました。

※神奈川県、全国の値は、公立学校の平均正答率です。

## 学力等についての現状

分類	区分	平均正答率（％）		
		本校	神奈川県（公立）	全国（公立）
国語	全体	67	61	63.8
	話すこと・聞くこと	73.3	69.1	72.3
	書くこと	54.5	52.7	54.5
	読むこと	87.3	80.3	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	57.8	49.2	53.5
算数	全体	73	67	66.6
	数と計算	71.4	63.3	63.2
	量と測定	61.2	54.1	52.9
	図形	80.9	76.6	76.7
	数量関係	75.8	68.7	68.3

全体の結果として、本校の児童の平均正答率は、国語、算数ともに神奈川県、全国の平均正答率を上回っています。区分ごとの問題について詳しく分析してみると、国語では「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」ことや、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことを問う問題において、正答率が低く出ました。また、算数では「減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるかを書く」ことを問う問題においては、神奈川県や全国の平均正答率を下回りました。他の問題からも、示された式や図形の求め方などを理解したり、解釈して説明を記述したりすることについて平均を下回る傾向が見られます。

自分の感じたことや考えたことについて、既習の漢字を使いながら書いてまとめる指導を、これからもいろいろな教科や場面で継続して行っていきます。また、問題文から式、という一方的な流れだけでなく、式から考え方を読み取ったり問題を作ったりするような学習を取り入れながら、ここでも自分の考え方を書いて説明する力を伸ばしていけるようにします。

学習や生活に関する結果では、「朝食を毎日食べているか」の設問に対して、①「当てはまる」②「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が9割以上と、高い結果が見られました。「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の設問に対する答えには、ばらつきがありました。“早寝・早起き・朝ごはん”を実践して、子どもたちが毎日元気に登校できるように、各家庭でのご協力をお願いします。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問について、①②を合わせて9割を超える児童が意識を高くもっていることが分かりました。引き続き、いじめの根絶に向けた取組に邁進していきます。

読書に関する設問では、普段読んでいるかどうか、読書が好きかどうかなどについて、神奈川県や全国の平均を下回って低い数値として表れました。いかにして、子どもたちに読書の楽しさや面白さを味わえるようにするか、今後の課題です。また、「自分には、よいところがあると思うか」「将来の夢や目標をもちますか」の設問に対しても、自信をもって「当てはまる」と答える児童が増えていくように、学校生活のあらゆる場面で、小さな積み重ねから子どもたちの自尊感情を高め、自他を認め合える関係づくりができるようにしていきたいと考えております。